

月刊エトランゼ

2014.5/17

【巻頭特集】

エトランゼ作家インタビュー

「CCC」

「カラカラ」

「フィッツロビンシリーズ」

修平氏・霜山モリス氏・竹見名央氏 執筆の本音とは？

【短編読切】

紅妹シリーズ番外編『亡霊の夢』

城野伊織 / イラスト 木村なづき



【企画】

これが、エトランゼだ！

作品アーカイブ

Drole 春号メイキング

新刊 Drole の制作裏に迫る





—エトランゼに書いてくださった理由を教えてください。

修平 頼まれたから。

――では嫌々ながら、という感じだったんですか？

修平 連載であるって点と、紙になるって点は好ましくなかった。ただ、編集している人々に覚えがあったから、引き受けたんだ。

――そうですか。実際にやってみてどうでしたか？

修平 よかったよ。とても。

――具体的にどんなところがですか？

修平 意見を貰えるところがよかった。

――それによって何か改善しましたか？

修平 改善しなければいけないところを自覚したけど、未だ手探り状態です。

――なるほど、頑張ってください。編集に対して何か意見はありますか？

修平 ありがとう。意見は特にございませんよ。

――他にになにか連載してみて良かった所はありますか？

修平 お恥ずかしい話だが、エトランゼで知り合ったり、仲良くなれた人がいるのがよかったよ。

――なるほど。ご自身の作品である『CCC』になにか思うところはありますか？

修平 この場で何かを言うのは不適當に思えるよ。

――修平さんにとって、小説とはなんでしょう？

修平 答えかねるよ。

――そこをなんとか……。

修平 わかった。ならばこういうよ。学問、って。

――では世界とはなんだと思いますか？

修平 「世界とはなにか」と考えるとき、心と現れる幻影。

――と、いいますと？

修平 森博嗣の引用なんだ。

――わかりました。ありがとうございます



—好きな小説は？
霜山 滝本竜彦の『NHKによろこそ！』とか、ゴーゴリの『鼻』

――日芸で面白かった授業はありますか？

霜山 **マンガ論！**（即答かつ力説）

――なるほど。ところでケミットに入部した理由を教えてください。

霜山 Droleに書きたかったから

――読者からの人気も高い『カラカラ』ですが、あの発想はどこから？

霜山 カタツムリが大嫌いだから。嫌いなものだからこそっていうか、嫌いなものを書いたら面白くね？って。

決めポーズ付きで

「カタツムリは害虫である！」

と高らかに宣言する霜山氏。

――執筆がはかどる時というのはありますか？

霜山 締切り前とか。朝より夜だね。

――霜山さんは兼部などで忙しいようですが、いわゆる「内職」のようなことは？

霜山 それはないなあ。小説を書く時間は大事にしたいから、授業中には書かん。

――それは失礼しました。霜山さんにとって世界とはなんでしょう？

霜山 欠陥住宅。

――最後になにか言い残したことがあれば。

霜山 『きんいろモザイク』お勧めです！

――ありがとうございました。



—好きな小説などはありますか？

質問を無視して「おなかすいた」と言い出す竹見氏。

――では最近印象に残った本はありますか？

竹見 なにもない。

――エトランゼに書いてくださった理由を教えてください。

竹見 なんか城野君がー……なんで誘ったの？

――掲載作品の『フィッツロビンと光の絵筆』はどのような風に書き始めたのですか？

竹見 ラノベっぽい作品を無理やり考えた。

――竹見さんにとって小説とはなんでしょう？

竹見 そういうのいいから。

突然「私が質問者だ！」と言い出す竹見氏。

「フィッツロビンは小説じゃない」

「フィッツロビンは文字の羅列だ」

「小説はアキレス腱を削って書いている」

など、支離滅裂なことを書き殴り始める竹見氏。

――もっと面白い話は？

竹見 思い出した。私ね、小三の時に家を燃やしかけたことがある。祖母が書道の先生で、半紙をいっぱい持ってただけど、「半紙燃やしたらどうなるかな」と思ってチャッカマンで火をつけたらポワッと燃えて。びっくりして手離したら、床にポワッ……みたいな。

――では最後に、竹見さんの未来は明るい？

竹見 LEDライトで照らされてる。

――安定した明るさってことですね。ありがとうございました。

これが、エトランゼだ！

エトランゼだ！

月刊誌であること、ライトノベルがテーマであることなど

・他の文芸サークルがやってないこと・を積極的に実施しているのが大きな特徴です。

現在、ホームページにて作品の人気投票を行っています。

*連載中の小説作品

フィッツロビンシリーズ 竹見名央 / イラスト えりな

珍しい花を探し求め、フィッツロビンは旅をする。



『レストラン・グラフィティ』Q / イラスト 篠屋

真夜中のレストランで、人々は人生の転機に直面する。

徳井紅太郎の妹シリーズ 城野伊織 / イラスト 木村なづき

引きこもりの兄と高校生の妹とその非日常。



『CCC クロノクロスタロニクル』修平 / イラスト Dake

密ちこぼれの画家「管木」は、ある日指名手配に遭遇し……。

『カラカラ』霜山モリス / イラスト めーぶる

突如、街に現れた巨大カツムリ。

時が盤につれ人々の関心は薄れていったが……。



Drole 2014 春号 メイキング

たかがサークル誌、
されどサークル誌
山あり谷ありの4か月間。
その制作裏に迫る！



—二〇一三年
けみっとラインに
ドロール制作のお知らせが張り出される

「どうもーるつくるよー☆」

十二月二十二日
執筆者決定
冬休み中にストーリーの構想を練ってきてもらう。

一月一日 あけおめー
一月八日 学校スタート
一月十九日 担当決め

※ライター以外のけみっとメンバーが、担当者として各ライターさんに二名ずつつき、執筆していく上での相談役になったり、赤入れをしたりします。



一月 プロットを書いて担当と
打ち合わせ&絵師さん決め

担当のターン

執筆の前に、ライターには作品のプロットを上げてもらい、担当者と事前に打ち合わせしておくことで、ストーリーを深めておく&ライターが描きたいものを担当者と共有しておく。

また、プロットの段階で、どの絵師さんにどの作品イラストをお願いするかを決める。打ち合わせが終わったライターさんから執筆に取りかかってもらう。

その他の動き…

一月八日と一月二十九日に
月刊エトランゼを発売

二月四日 春休みスタート
二月八日 雪が降った！



二月 苦難の執筆期間 ライターのターン

どんなにぼろぼろでも、締め切りまでに作品を完結させておかなければいけない。
頭の中であんなに盛り上がっていたストーリーを、文字に起こすという作業のつらさ。締め切り間際になってから突如届く恐怖の催促メール。

三月 作品推敲期間 & イラスト製作期間

担当のターン

いったん書き上げてしまえば、達成感に包まれて幸せいっぱい。
提出された作品に担当が赤入れをしたり、意見を言ったりして、よりよい完成稿にするために推敲する。
絵師さんに初稿を送り、イラスト製作にとりかかっていただく。

三月三十一日 完成稿メット

四月三日 学校スタート
四月十四日、二十一日
机出し期間

四月 紙面編集

編集のターン

意外と大変な紙面作業。
ページ数予想が変動するとひやひやする。
(予算的な意味で)
画像の調整、作者名や絵師名の確認など、事務作業的なことも多い。

※ゴール目前ラストスパートの快感と焦りと恐怖をまろっと体験できるポジションです。
ミスや修正点があった場合に、担当やライター！
絵師さんに連絡したり印刷会社とアポをとったり、ある程度のコミユカも必要ですね。



五月五日 文学フリマにて製本された
ドロールにご対面！

そして迎える、春祭！

その他の動き…
エトランゼ春祭号外作ったよ！



KMIT HP

<http://kmit.weebly.com/>

月刊エトランゼ HP

<http://kmit-monthly.weebly.com/>

web project HP

<http://kmit-project.weebly.com/>

電子書籍のページ

<http://p.booklog.jp/users/kmit-kemmy>

twitter@kmit_kemmy

メールアドレス

kmit.kemmy@gmail.com

[KMIT 日芸] で検索!



人気投票のお知らせ

月刊エトランゼでは、作品の人気投票をweb上で行っています。エトランゼに掲載されている作品で、あなたが良いと思った作品に投票してください。投票はエトランゼHPにて受け付けております。

持ち込み原稿募集中!

KMITでは持ち込み原稿を募集しています。事前にご連絡いただき、KMIT編集部へ印刷した原稿を直接持ってくる形か、メールにて原稿データを添付して送信する形の2通りでご対応しております。KMITでは才気あふれる小説をいち早く発見・発信していきたいという編集部の熱意により、月刊エトランゼを発刊しております。ぜひあなたの原稿を私たちに読ませてください!お待ちしております。

広告を載せてみませんか?

「公演があるのでポスターを載せたい」「インタビュー記事を書いてほしい」そんなご要望にお応えして、当雑誌では、広告ページの受付をしております。毎月日芸内で約100部刷版される雑誌で、あなたのサークルや団体のイベント情報を告知してみませんか? 広告掲載の依頼・ご相談はメールにて受け付けておりますので、ぜひご連絡ください。担当スタッフが詳細をご説明いたします。

木村千佳

△t(でるたてい)

齊藤裕之介

紀谷実伽留

松原葵

【エトランゼ編集部】

川島佑太

川崎智代

太久保佳澄

前島汐里

【誌面編集・作品担当】

ガッツある商社マン

表紙イラスト

木村なづき

紅妹シリーズ番外編

【絵師紹介】

城野伊織

紅妹シリーズ番外編

【作家紹介】

月刊エトランゼ 春祭号外

<http://p.booklog.jp/book/87268>

著者 : kemmy

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kmit-kemmy/profile>

発行 : 日本大学芸術学部文芸学科 サークルKMIT (ケミット)

URL : <http://kmit.weebly.com/>

小説執筆 : 城野伊織

イラスト : 木村なづき

表紙 : ガッツある商社マン

紙面編集・作品担当 : 前島汐里/大久保佳澄/川崎智代/川島佑太

編集 : 紀谷実伽留/齊藤裕之介/△t (でるたていー) /木村千佳

発行者 : 松原葵

電子版入力 : 柚木涼

月刊エトランゼ HP

<http://kmit-monthly.weebly.com/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/87268>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/87268>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパバー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ